

総合科学技術・イノベーション会議 政策討議

(政府事業におけるイノベーション化の推進)

平成30年2月15日

データヘルス改革により提供をめざす7つのサービス

計数は、平成30年度予算案。()内の計数は、平成29年度当初予算額。

平成30年度 予算案 85.4億円(17.1億円)

全国的なネットワーク構築による医療・介護現場での健康・医療・介護の最適提供

全国的な保健医療ネットワークを整備し、医療関係者等が円滑に患者情報を共有できるサービス

セキュリティ関連事業：4.2億円（新規）

全国保健医療情報ネットワークのセキュリティ対策に関し、機能の調査、実証、要件定義やガイドライン策定等を行う。

保健医療記録共有サービス実証事業：0.8億円（新規）

保健医療記録共有サービスの本格稼働に向け、保健医療記録の個人ごとの時系列管理、情報更新等の仕組み、提供画面、本人同意などの課題の検討や実証を行う。

医療的ケア児(者)等の救急時や予想外の災害、事故に遭遇した際に、医療関係者が、迅速に必要な患者情報を共有できるサービス

医療的ケア児等医療情報共有サービス基盤構築事業：1.5億円（新規）

平成29年度の医療的ケア児の医療情報の共有に関する実証事業で把握した課題・問題点を検討の上、医療的ケア児等がICTを活用し外出先でも適切な医療を受けられるよう、全国規模のサービス実施体制を整備する。

国民の健康確保に向けた健康・医療・介護のビッグデータ連結・活用

健康に関するデータを集約・分析し、個人(PHR)や事業主(健康スコアリング)に健康情報を提供するサービス

レセプトデータ等を活用したデータヘルスに関する事業：0.5億円（新規）

コラボヘルス推進のため、各保険者の加入者の健康状態や健康関連コスト等を見える化したスコアリングレポートについて、事業主向けに作成する機能を導入するための仕様を検討する。

健康・医療・介護のビッグデータを個人単位で連結し、解析できるようにするサービス

データヘルス分析関連サービスの構築に向けた整備：12.0億円（新規）

健康・医療・介護のデータベースを連結して解析できるよう、具体的なシステム構成等について検討する。

データヘルス改革により提供をめざす7つのサービス

科学的介護の実現

介護の科学的分析のためのデータを収集し、最適サービスを提供(世界に例のないデータベース構築)

科学的介護データ提供用データベース構築等事業
：2.7億円(新規)

科学的介護を実現するため、分析に必要なデータを新たに収集するためのデータベースのプロトタイプ構築を行う。

通所・訪問リハビリテーションの質の向上支援等事業
：1.0億円(0.5億円)

全国の事業所から収集したデータを分析し、リハビリテーションの標準的な内容及び先進的な取組をフィードバックする。

最先端技術の導入

がんゲノム情報の収集、医療関係者等が利活用できるサービス

がんゲノム医療推進コンソーシアム関連経費
：20.0億円(新規)

がんゲノム情報や臨床情報を集約し、マスターデータベースの構築・利活用を図るため、がんゲノム情報管理センターを整備する。あわせて、質の高いゲノム医療を提供するため、がんゲノム医療中核拠点病院等の体制を整備する。

臨床ゲノム情報統合データベース整備事業(がん領域)
：5.0億円(6.5億円)

ゲノム医療の実用化に向けて、がん領域等の症例から得られた臨床情報、ゲノム情報等を統合した「臨床ゲノム情報統合データベース」を充実させる。

革新的がん医療実用化研究事業(がんゲノム分)
：23.1億円(3.4億円)

がん種を限定せず特定の遺伝子異常等を有する患者群を対象に薬剤の治療効果を検証する研究など、ゲノム情報を用いた予防、診断、治療方法の技術開発等の研究を行う。

臨床研究データベースシステム管理事業
：1.0億円(新規)

臨床研究法の成立に伴い、臨床研究の実施計画の届出・公開と臨床研究の概要等の登録が一体となり、公開情報の検索も可能な公的データベースシステムを構築する。

A I 開発基盤に必要なデータを収集し、研究者や民間等が利活用できるサービス

保健医療分野におけるAI開発の加速：13.5億円(6.7億円)(一部新規)

重点6領域(ゲノム医療、画像診断支援、診断・治療支援、医薬品開発、介護・認知症、手術支援)を中心に必要な研究事業等を実施する。